犬伏ハンマー投げ 帯農高 道高校新

陸上春季サーキット第2戦

女子100障害 安孫子飛（帯農高）6年100女子 館（十勝陸上ク）V

陸上競技の春季サーキット第2戦（北海道陸上競技協会など主催）最終日は8日、帯広の森陸上競技場で高校・一般と小学生の競技を行った。女子ハンマー投げで犬伏志歩（帯農高3年）が1投目に44㍍32をマークし、従来の北海道高校記録40㍍93を大幅に更新する新記録を樹立した。女子100㍍障害は安孫子飛鳥（同）が15秒46のトップタイム。小学生は、女子6年100㍍で館未帆（十勝陸上クラブ、木野東）が13秒70で全道標準記録を破るなど、多数の選手が道小学生大会（7月・函館）の出場権を獲得した＝2位以下の記録は後日掲載。（小寺泰介）

【女子ハンマー投げ】こん身の力を込めて投げる犬伏志歩

【女子100㍍障害】冬の練習の成果を発揮して快走した安孫子飛鳥

無心で投じた大記録 「国体で50㍍投げたい」 犬伏

犬伏志歩の1投目は、大きな放物線を描いて軽々と40㍍を飛び越えた。44㍍32の道高校新記録樹立。本番で初めて迫った45㍍ラインに「やれるだろう、から確信に変わった」と本人も喜びを隠さない。

練習では45㍍前後の記録を頻繁に出していたが、公式記録がなく焦っていた。4月29日の第1戦、自己記録を更新したものの40㍍52どまり。「結果を出さないといけない」と自分を追い込んだことが悪影響し、ここ1週間は35～40㍍しか投げることができなくなり苦しんだ。これ以上投げてもネガティブになるだけ」とハンマーを置き、基本に立ち返ってターンとドリル練習のみに切り替えた。

3日ぶりにハンマーを握った本番。ヘッドの力のみで第1ターンに入れるよう力を抜き「試合を楽しめるぐらいの余裕を持って気持ち良くやろう」と無心で投じて達成した大記録だった。

冬期間、ウエートやサーキットトレーニング、砲丸の投げ込みを集中的に行い「やれることはやってきた」と犬伏。西山修一監督は「ベンチプレスをスクワットで135㌔上げられるようにもなり、筋力は大学生並み。腕も長くハンマー投げに向いており、将来が楽しみ」と評価する。犬伏は「今日はやっと結果が出た」と安堵（あんど）しながらも、6投中4投がファウルだったことを反省。「ターン練習が足りない。フォームを安定させ、国体で50㍍投げられるよう頑張りたい」と気を引き締めていた。

第一人者に学び 好記録に手応え 安孫子飛

○…女子100㍍障害は、安孫子飛鳥が第1戦の記録を上回る15秒46をマーク。「良いスタートが切れた」と今後の記録更新を予感させる。

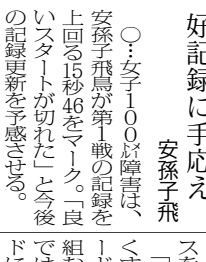
昨夏の全国高校総体（沖縄）で準決勝進出を逃し、この冬初めて本格的にハードル練習に取り組んだ。1月には筑波大講師で、障害競技第一人者の谷川聡氏に弟子入り。「ハードリング優先の腕振りでタイムロスが多い。走り優先の腕振りを」などアドバイスを受けた。

「空中での時間をいかに短くするかが最大の課題」とハードルドリルに徹底して取り組むとともに「インターハイでは上位選手と後半のスピードに差が出た」と100㍍のスプリットを意識した練習を重ねてきた。

安孫子は「高校最後の年なので、悔いのないよう努力してインターハイ入賞を目指したい」と意気込んでいる。

自己ベストうれしい 女子小学6年100㍍1位の館未帆の話

スタートダッシュはいつもより良くなかったが、歩幅を広く手を大きく振って挽回できた。自己ベストが出たのでうれしい。去年の全道は決勝に残れなかったので、最後のスピードを上げるための走り込みをして上位を狙う。



かちまいスポーツ

陸上ゴールデンGP川崎

400リレー世界選手権へ 福島 100は失速4位

女子400㍍リレーでアンカーの市川華菜（左）にバトンを渡す第3走者の福島千里。日本Aチームは43秒39の日本新記録で優勝＝8日、川崎・等々力陸上競技場

【川崎】陸上競技のセイコーゴールデングランプリ川崎（日本陸上競技連盟主催）が8日、神奈川県川崎市の等々力陸上競技場で行われた。女子400㍍リレーは福島千里（北海道ハイテクAC―帯南商高出）が3走を務めた日本A（北風沙織、高橋萌木子、福島、市川華菜）が、従来の日本記録（43秒58）を0・19秒更新する43秒39の新記録をマーク、世界選手権（8月27日～9月4日・韓国）の参加標準記録（44秒00）も突破して優勝した。福島の同100㍍は11秒56で4位にとどまった。同400㍍の佐藤真有（東邦銀行―福島大、帯南商高出）は54秒93で7位だった。

合宿成果で日本新 女子リレー

○…女子400㍍リレーで2季ぶりに日本新記録が生まれた。短距離界を引っ張る福島、高橋に加え、今季好調な大学生の市川、足のけがが癒えて代表チームに復帰した北風が息の合ったバトンパスを披露。世界選手権の出場権も手にし、4人は喜びに沸いた。

今春は沖縄で合宿し、今季初めて採用したアンダーハンドパスを入念に練習した。その成果が出て、北風は「みんなで43秒3台はいけると話していたけど、それが達成できて良かった」と笑顔。市川も「先輩たちに絶対大丈夫と励まされて走った」。チームとしての一体感も、もう一つの収穫だ。

ふくらはぎ違和感 福島

○…日本記録の更新も期待された女子100㍍の福島だったが、ゴール手前で失速して4位に終わった。ふくらはぎに「違和感があった」という。4月の織田記念でも同じ場所にけいれんを感じ、決勝を棄権。「冬季練習ではいい成果があったのに、レースでまだ発揮できず残念です」と歯がゆそうだ。

このレースの前に、400㍍リレーで第3走者を務め、日本新記録樹立に貢献。あるいは疲労が残っていたか。福島を指導する北海道ハイテクACの中村宏之監督は「大事には至らないだろうが、今後走るたびに心の中で不安を感じなければいいが」と懸念する。短距離女王に試練が訪れた。

【女子400㍍・決勝】54秒93で7位の佐藤真有（右、大瀧百合香撮影）

記録の速報は▶kachimai.mobi　写真がほしい▶TEL0120-25-9410　Eメール▶sports@kachimai.co.jp　ファクス▶0155-25-2700

【女子】▽100㍍＝①アレクサンドリア・アンダーソン（米国）11秒28④福島千里（北海道ハイテクAC―帯南商高出）11秒56▽400㍍＝①シェリース・ウッズ（米国）52秒68⑦佐藤真有（東邦銀行―福島大、帯南商高出）54秒93▽4×400㍍リレー＝①日本A（北風沙織、高橋萌木子、福島千里、市川華菜）43秒39・日本新（1位と関係分）

【男子】◇一般・高校▽100㍍（追い風3・9㍍）＝①高野元博（白樺学園高）11秒23▽200㍍（追い風5・1㍍）＝①山口慎司（帯畜大）22秒93▽400㍍＝①土屋宏起（釧路湖陵高）52秒29▽800㍍＝①松木智雅（白樺学園高）1分58秒52▽1500㍍＝①松木智雅（白樺学園高）4分9秒27▽5000㍍＝①清水達也（足寄高）15分49秒08▽110㍍障害（追い風2・3㍍）＝①杉山智樹（白樺学園高）15秒96▽400㍍障害＝①中西敬靖（白樺学園高）58秒41▽3000㍍障害＝①樋口亜走（音更高）10分20秒06▽5000㍍競歩＝①三上裕（北見北斗高）23分50秒84▽4×400㍍リレー＝①白樺学園高A（中西敬靖、高野元博、蓮井健太朗、上原慶大）43秒57▽1600㍍リレー＝①白樺学園高B（河瀬遥紀、松木智雅、長谷川裕倫、谷口昂平）3分32秒93▽走り高跳び＝①岡久拓人（釧路高専）1㍍85▽棒高跳び＝①田本祥城（帯三条高）4㍍00▽走り幅跳び＝①岩部滉平（池田高）6㍍61（追い風3・0㍍）▽三段跳び＝①桜井誠（釧路工高）12㍍25（追い風2・2㍍）▽砲丸投げ＝①加藤剛（十勝陸協）13㍍50▽J砲丸投げ＝①山下善己（帯農高）14㍍25▽円盤投げ＝①有富幸治（帯畜大）36㍍55▽J円盤投げ＝①山下善己（帯農高）35㍍73▽Jハンマー投げ＝①橋本耀介（帯農高）41㍍12▽やり投げ＝①堀邊太（帯農高）51㍍47▽八種競技＝①窪田望（帯農高）3303点（100㍍11秒96、走り幅跳び6㍍41、400㍍57秒68、110㍍障害20秒74、走り高跳び1㍍40、やり投げ32㍍30、1500㍍4分58秒99）

◇小学▽100㍍▼4年（追い風4・0㍍）＝①折笠竜馬（上士幌小）15秒78▼5年（追い風4・5㍍）＝相澤凌哉（十勝ク）14秒70▼6年（追い風4・1㍍）＝①加藤悠作（NNAC）13秒31▽800㍍▼4年＝①佐藤駿也（士幌小）2分48秒10▽1500㍍▼5年＝①江ノ上侑（上浦幌中央小）6分5秒40▼6年＝①北村優知（芽室小）5分32秒13▽80㍍障害▼6年（追い風4・0㍍）＝①戸島健吾（十勝ク）15秒23▽4×400㍍リレー▼4年＝①十勝陸上クラブ（佐藤恭、蛯澤快斗、吉田勇真、田所和）66秒67▼5年＝①十勝陸上クラブ（幸田泰知、相澤凌哉、水谷忍）61秒43▼6年＝①十勝陸上クラブ（佐藤柊、大沼和樹、戸島健吾、椿要二）57秒73▽走り高跳び▼5年＝①谷侑奇（忠類小）1㍍05▼6年＝①三好健太（清水少）1㍍15▽走り幅跳び▼5年＝①水谷忍（十勝ク）6㍍96▼6年＝①大沼和樹（十勝ク）4㍍42（追い風3・0㍍）▽ソフトボール投げ▼4年＝①畠山博紀（清水少）36㍍88▼5年＝①遠渕徹（鹿追小）42㍍24▼6年＝①山口麓郎（鹿追小）51㍍57

【女子】◇一般・高校▽100㍍（追い風4・1㍍）＝①安孫子飛鳥（帯農高）12秒67▽200㍍（追い風3・5㍍）＝①赤坂真優（釧路湖陵高）26秒82▽400㍍＝①赤坂真優（釧路湖陵高）1分46秒46▽800㍍＝①鈴木みさき（北見北斗高）2分22秒45▽1500㍍＝①鈴木みさき（北見北斗高）4分57秒08▽3000㍍＝①山中茜（北見北斗高）10分56秒23▽100㍍障害（追い風1・9㍍）＝①安孫子飛鳥（帯農高）15秒46▽400㍍障害＝①新倉榛名（帯農高）1分9秒91▽2000㍍競歩＝①山中茜（北見北斗高）25分41秒74▽400㍍リレー＝①帯農高A（上村文音、井上真由、横井夏穂、稲川くるみ）57秒15▽走り高跳び▼6年＝①長谷川由奈（幕別少）1㍍25▽走り幅跳び▼4年＝①松田玲果（光陽小）3㍍26▼5年＝①菊地ひかり（十勝ク）3㍍96▼6年＝①渡部亜沙香（鹿追小）2㍍88▽ソフトボール投げ▼4年＝①大槻美悠（清水少）28㍍73▼5年＝①秋林瑠奈（上士幌小）27㍍44▼6年＝①長尾海夏（士幌小）27㍍45▽砲丸投げ▼6年＝①松岡美佳（明倫小）5㍍54

【居】松田、米津―川村▽三塁打＝伊藤（居）▽審判＝佐藤、佐藤季、伊藤博、佐藤芳

☆十勝川B球場

JAおとふけ　1000000 2x0 21

六花亭ドジャース（六回時間切れ）

【J】菊池―山本武

【六】田中―斉藤匠▽二塁打＝嶋崎（六）▽審判＝二村、大沼、佐々木

☆十勝川C球場

帯広タイガーズ　1000000 01

テツワンクラブ（六回時間切れ）

【帯】佐藤―三谷

【テ】内藤―上野拓、榎本▽審判＝小川敏、伊藤紀、伝宝

☆十勝川D球場

年中野球　0000002 02

SG・ROYAL（六回時間切れ）

【年】山本―鈴木

【S】今野―小谷▽二塁打＝佐々木（年）▽審判＝高井、松浦、伊藤宣

△2日目・10日の試合▽（午前5時試合開始）

◇1次戦

▽十勝川A＝WEED SOUL―帯広ウイングス

▽十勝川B＝稲田倶楽部―マテック

▽十勝川C＝フクハラZ―東北海道いすゞ自動車

▽十勝川D＝十勝三菱野球部―かちまい

頂点目指し開幕

71チームが熱戦展開

丸山杯野球

今季朝野球の開幕戦となる第6回丸山杯兼第40回支部長杯大会（道軟式野球連盟帯広支部主催）が9日午前5時、十勝川河川敷野球場で開幕した。今季は71チームが出場して頂点を懸けて争う。

初日は強風が吹き荒れるコンディションだったが、各球場で1点を争う好ゲームが繰り広げられた。帯広タイガースは初回に挙げた1点を守り抜いて勝利。六花亭ドジャースは六回サヨナラ勝ちで2次戦進出を決めた。

雨天時の試合実施の有無は、原則当日午前4時に現地で判断。決定は携帯電話から接続可能なインターネットで確認できる。アドレスはhttp://www.tokachi.co.jp/asaby/

（9日）

◇1次戦

☆十勝川A球場

居酒屋よりみち　2000 0

ノース・ベアーズ　3412X 102（五回コールド）

1点を争う好試合を展開する選手たち（テツワンクラブ―帯広タイガース）